

長寿福祉課

1 長寿安心プラン2012に基づく住まいの整備

(1) 介護保険施設等の整備 (平成25年度整備分)

- ① 小規模特別養護老人ホーム (1施設 定員29名)
- ② 認知症グループホーム (7施設 定員126名)

(2) 有料老人ホームの指導監督 (平成25年4月1日現在)

38施設 定員1,983名

2 高齢者の生活支援と安全安心対策の推進

- ① 福祉避難所の指定・整備
- ② 要援護高齢者実態調査(新65歳調査)の実施
- ③ 来年度の要援護高齢者一斉調査に向け、福祉保健台帳等の見直しを検討
- ④ まちぐるみ福祉活動の推進
- ⑤ 地域包括支援センターによる見守り・支援活動
- ⑥ 高齢者虐待の防止
- ⑦ 認知症サポーター養成、民間事業者からの通報体制の構築 など

3 高齢者の健康づくりと生きがい活動の推進

- ① 地域サロン
- ② 長寿お祝い金、ふれあい入浴券補助 など

4 その他

- ① いきいき福祉バスの創設

地域福祉の向上、地域の担い手づくりを目的に制度を創設併せて、従来の福祉バス制度を廃止

こども福祉課

子育ての喜びが実感できるまちへ

「かなざわ子育て夢プラン2010」の推進と、子ども・子育て支援新制度への対応

(1) 子育て支援を総合的に推進するための計画策定に着手

- ① 「かなざわ子育て夢プラン2010」の次期プラン（H27～H31）策定に向けてニーズ調査を実施
- ② 子ども・子育て支援新制度移行に向け、金沢版「子ども・子育て会議」を設置し「子ども・子育て支援事業計画」策定に着手

【子ども・子育て支援新制度】 *平成27年度から実施

- ア 目的
- 質の高い幼児期の学校教育・保育の総合的な提供
 - 保育の量的拡大・確保
 - 地域の子ども・子育て支援の充実
- イ 主な内容
- 保育所・幼稚園などの共通の給付等の創設
 - 事業の計画的な実施（市町村子ども・子育て支援事業計画の策定）
 - 認定こども園制度の改善 など

【子ども・子育て支援事業計画と子ども・子育て会議】

新制度移行において、市町村内の区域ごとに保育所や幼稚園などの必要総数の見込みとその確保の内容などを定める事業計画を策定するとともに、策定に当たっては合議制の機関（子ども・子育て会議）の意見を聴かなければならないこととされている。

(2) 親と子供が心豊かに社会と向き合える子育て環境をつくる

- ① 城北児童会館に子育てサロンを開設
- ② 戸板児童館（仮称）の建設（H27 開館予定）に向け、実施設計等を実施

(3) 仕事と生活が調和できる環境をつくる

- ① 保育士確保のため、私立保育所の処遇改善臨時特例事業を実施
- ② 市立森山保育所での0・1歳児受け入れ体制の拡充

(4) 子供をとりまく安全で優しい生活環境をつくる

- ① 児童館・児童クラブの運営体制の充実（夏休み等繁忙期における補助員の配置）
- ② 保育所の設備・運営基準条例への対応を支援

（乳児室等拡張の施設整備への補助率を嵩上げ 2/3→3/4）